

平成 30 年 3 月 15 日
東京厚生信用組合

第 7 回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営諮問会議」を設置しております。

本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第 7 回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第 8 回会議は、平成 30 年 8 月頃に開催する予定です。

— 記 —

1. 日 時 平成 30 年 2 月 2 日（金） 16 : 00 ~ 17 : 40

2. 場 所 東京厚生信用組合 本店

3. 出席者

(経営諮問委員) (五十音順、敬称略)

鈴木 豊 (公認会計士・税理士)

傳田 純 (東京都商工会連合会 専務理事)

西岡 修 (社会福祉法人 白十字会 白十字ホーム ホーム長)

(東京厚生信用組合)

稲村 久仁雄 (理事長)

中山 功 (常務理事)

高原 伸二 (常勤理事)

平山 圭樹 (常勤監事)

杉本 康幸 (企画部長)

4. 稲村理事長挨拶骨子

- ・当組合の平成 29 年 9 月期仮決算の収益状況については、ほぼ計画通りに進捗しています。
- ・収益については、まずまずの状況ですが、貸出拡大については、計画通りに進捗しておらず、一層の努力が必要な状況です。
- ・今年度も残り 2 ヶ月となり、4 月からは、第二次経営強化計画の最終年度へと入ってまいります。本日は、委員の皆様から忌憚のないご意見等をいただき、今年度の計画を達成し、来年度に繋げていくように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いたします。

5. 当組合からの説明内容

杉本企画部長より以下の内容について説明いたしました。

- ・平成 29 年 9 月期仮決算の概要
- ・経営強化計画の計数計画履行状況及び主要施策の実施状況
- ・全国信用組合監査機構監査の結果及び指摘事項に係る改善対応策

6. 会議における主な意見

出席委員の皆様から以下のご意見・ご提言をいただきました。

- 貸出金利に係る他行との競争が激しく、貸出金利息は厳しい状況にある中で、対抗上、どこまで金利を下げるかは難しい問題である。
また、貸出先を探すのも大変ではないか、と思われる。
- 貸出を行う環境が厳しい中、平成 29 年度上期については、それなりに努力したと言えるのではないか。
- 歯科医師向けローンに注力しているとのことだが、最近、歯科医院はますます多くなったと感じている。
- 貸出に関する手数料にいくつかの種類があることは理解した。
- ヒューマンエラーが発生することは止むを得ないが、事務ミスは信用問題に繋がるおそれがあり、繰り返さないように留意すべきである。
- 苦情の中には、その後の業務運営上役に立つものもあるので、ネガティブに捉えずに、活かしていくことが必要である。
- 介護事業所においても苦情は監査項目としており、苦情が発生した場合は、共有化することになっている、苦情処理は顧客との関係上、重要である。また、適切な苦情処理と再発防止に積極的に取り組むことは、顧客との信頼関係を高める観点から重視したい。

7. 稲村理事長からの回答

本日は、大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

平成 29 年度も残りわずかですが、第二次経営強化計画の目標達成に向けて頑張っていきたいと思います。

なお、平成 30 年 8 月には、組合設立 65 周年を迎えることとなります。お客様への 65 年の感謝の気持ちをどのような形で表していくか、実行委員会を設置し、検討していく予定です。

以上